

— あなたの暮らしの応援団 —

飛翔

JA さ わ い せ さ き

2～3ページ

GAP認証で広がる信頼の輪
～農業の新しいスタンダード～

7ページ

イベントレポート

15ページ

施設園芸農家に対する営農用A重油支援対策
のお知らせ

2024
11
Vol.381



石田 喜代治さん(中央右)・息子の直希さん(左)
従業員の横堀 良太さん(中央左)・大森 香木さん(右)
(表紙の紹介は裏表紙)





GAP認証で広がる信頼の輪

～農業の新しいスタンダード～

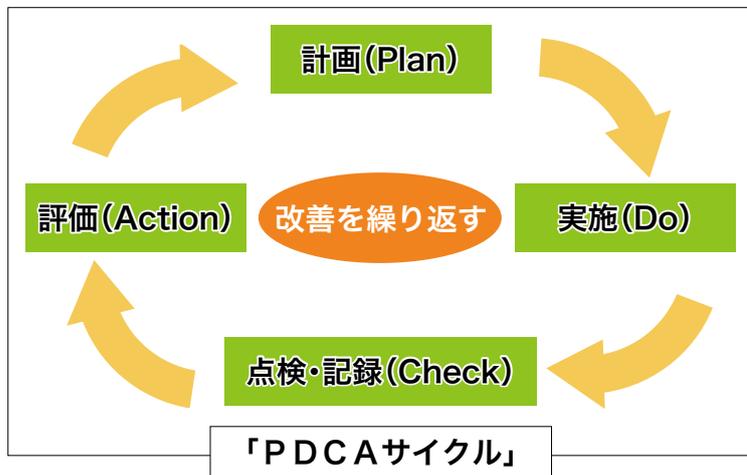
GAP II よい 農業の 取り組み Good Agricultural Practices

「適正な農業の取り組みで生産しよう！」
という取り組みのこと

GAPは一般的に「農業生産工程管理」と呼ばれています。その中でも、JGAPは日本における標準的なGAPです。工程管理とは、言い換えれば「農産物を作る際に適正な手順を守り、モノの管理を行い、持続可能性を確保する取り組み」のことです。

具体的には、日頃の農業生産における各工程・各作業、例えば、栽培時における農薬の散布、農産物を出荷する際の梱包作業などについて、食品安全や環境保全、労働安全等の観点から、危険性や問題点を考え、それぞれに対策を行い、改善していく取り組みです。

基本的には、点検項目を「PDCAサイクル」で実践していきます。



GAPに取り組むことは、「販売先の信頼確保」「資材の在庫削減」「従業員の意識改革」などのメリットがあります。

GAPってどんなものか知らないという方：次のようなことに取り組んでいませんか？

- 農薬散布の記録をつけている
- 施肥設計を行っている
- トラクターなどの機械を使うときは農作業安全を心がけている

GAPを全くやっていない農業者はいません。「いつでも」「だれでも」取り組むことができます。GAPは日頃からやっていること。では、その取り組みは、本当に実施基準にかなっているのでしょうか。自分の判断だけでは、証明になりません。そこでGAP認証の取得です。GAPの認証取得は、「農場管理を適切に実施していること」を第三者による審査を受けることで「見える化」するものです。

認証をとらないにしても、日々の農作業に追われるなかでGAPに取り組むのは大変なことです。それでも、GAPの真髄は「認証取得」ではなく、「良い農業の実践による経営改善やリスク回避、安全な農産物の生産」などにあり、JAは取り組みをおすすめしています。

JAには、JGAP指導員の資格をもつ職員がいます。書類作成や事前準備など様々な面でサポートいたします。もしGAP認証取得に興味がありましたら、

営農支援課 TEL:0270(27)3030
園芸販売課 TEL:0270(20)1223
までご相談ください。

参考：農林水産省HP / 一般社団法人日本GAP協会HP

JGAP認証を取得したブロッコリー生産者にインタビュー

J A 佐波伊勢崎園芸協議会
ブロッコリー専門部会
塩谷 剛久 部会長



ブロッコリー生産グループとして、塩谷部会長を含め3人の生産者が取得しました。複数の経営体で構成された団体で取得する場合は「団体認証」といい、個別認証で求められる取り組みの一部が団体の取り組みとして共通化され、個々の負担が軽減します。生産者のほか、団体事務局や集出荷施設への審査も行われ、さかい営農センターも取得しました。

JGAPを取得しようと思っただけは

大手コンビニチェーンに加工用ブロッコリーを出荷しており、取引するにあたってJGAPの取得が必要になったからです。また、近年はGAPへの関心が高まっているため、GAP取得が生産者選

びの基準になっていくかもしれないと考えたことも理由のひとつです。

取得に向けてどのような準備をしましたか

GAPの話が出てからは3年ほどです。最初はJA全農ぐんまのアドバイザーに概要などを説明してもらいました。「いつかは取り組まない」と思っていました。取得が必要になったことで早めに取りかからねばと思いました。JAが事務局となり、勉強会などを行って理解を深め、書類作成や審査など、約1年かけて今年の9月に認証を取得しました。JAや全農、伊勢崎地区農業指導センターのサポートがあったからこそ取得できたと感じています。

大変だったことは

まずは掃除ですね。いろんなものがごちゃごちゃしていたので整理するのは大変でした。でも、GAP認証取得という目的が見えると掃除の必要性を感じ、整理整頓できるようにしました。また、マニュアルづくりや農薬・肥料の使用量など日々の作業の記録をすることも一苦労。仕事の後に自分でやらなければいけないので気が重かったですが、習慣化してきました。

審査の様子



▲資材のチェック。
雨ざらしや割れなど異物混入のリスクがないかを確認



▲ほ場までの道に危険がないかを確認
(段差やぬかるみ、住宅が多いなど)

取得に向けて取り組む中で、変わったと思うポイントはなんですか

一番は「意識」が変わったと思います。安全・安心な青果物を作るには気持ちはもちろんですが、一つ一つの作業が大切です。その記録を残すことで、どのように管理をすれば良いものができるかを説明できるようになります。すべての作業がつながっていると感じ、「良いものを出荷したい」という意識が改めて強くなりました。

JGAPの取り組み例



▲運営方針や緊急時の対応フローなどを掲示。従業員にも説明し、一目で分かるようにしています。



▶作業で使う包丁やハサミには番号を振り、誰が使ったかを把握



▲整理された農薬保管庫

今後の目標

「GAP認証取得をしたらゴール」というわけではありません。認証の有効期間は2年間で、維持審査や更新審査が定期的にあります。これからもずっと続けていけるかが重要なので、この意識を持ち続けて楽しく農業をやっていきたくです。また、取得はしなくてもGAPに取り組むことでより良いものを作ることにつながるはず。生産者の皆さんにも「良い農業をしていこう」という意識が広がっていくといいなと思います。



▶表彰された農事組合法人稲荷（左）

さとのそら多収穫共励会

9月25日、JA佐波伊勢崎集落営農法人連絡協議会と米麦連絡協議会は本店で令和6年産「さとのそら」多収穫共励会と麦作研究会を開き、生産者やJA職員ら57人が参加しました。

10アールあたりの収量が多い5法人を表彰し、農事組合法人稲荷が第1位を受賞しました。

研究会では、伊勢崎地区農業指導センターと米麦連絡協議会が協力した、水田栽培の「ゆめかおり」の施肥方法やイネ科雑草防除に関する実証試験結果を生産者と共有しました。

農福連携意見交換会

9月17日、当JAは本店で農福連携意見交換会を開き、23人が参加しました。

農福連携とは、障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現する取り組みのことで、管内では2法人が取り組んでいます。

この2法人と検討中の1法人が参加し、それぞれの現状を踏まえながら福祉施設の職員らと意見交換を行いました。また、生産者と施設の観点から疑問や要望を共有し、障がい者の体力の有無や作業適正のマッチングなどの課題について解決方法を話し合いました。



第13回佐波伊勢崎乳牛共進会

9月27日、伊勢崎市乳牛改良研究会は第13回佐波伊勢崎乳牛共進会を開き、7頭の牛が出品されました。

今回は農畜産課の職員がビデオカメラで撮影した映像を見て、審査を行いました。第10部経産（48ヶ月以上60ヶ月未満）に出品された新井克弥さんの「イーストアップBD HIラボ」がグランドチャンピオンとなりました。

この牛が10月25日に行われた第28回群馬県畜産共進会（乳牛の部）に出場しました。

各地区で麦類栽培講習会を開催

9月27日から10月4日にかけて、JA佐波伊勢崎米麦連絡協議会は、各地区で麦類栽培講習会を開きました。

講習会では、伊勢崎地区農業指導センターの担当者が栽培のポイントを説明。管内で難防除雑草が増加しているため、除草剤の体系処理防除をすることや小麦なまぐさ黒穂病・赤かび病などの病害対策を行うよう呼びかけました。

令和6年産は、暖冬によって平年に比べて徒長し、倒伏が見られました。令和7年産は「適期播種」「適切な麦踏み」「適期・適正な追肥」に注意して栽培を行います。



▲9月30日 玉村地区



第2回フレッシュ農業セミナー

10月3日、佐波伊勢崎地域担い手育成総合支援協議会はたまむら営農センターで、令和6年度第2回フレッシュ農業セミナーを開き、新規就農者や女性農業者など18人が参加しました。

今回は群馬県立農林大学校から講師を招き、農業機械作業の実践をテーマに農作業安全や農業機械の実習を行いました。

参加者は実際に刈払機を使って作業前の日常点検や安全な操作方法を学びました。



小玉すいか出荷反省会及び栽培講習会

10月10日、JA佐波伊勢崎園芸協議会すいか専門部会はあかぼり営農センターで、小玉すいか出荷反省会及び栽培講習会を開き、19人が参加しました。

市場や伊勢崎地区農業指導センター、種苗会社が説明し、小玉すいか・ピノガールの販売実績や栽培管理、品種特性などを共有しました。

今年は天候不順の影響を受け、例年に比べて3～5月の出荷量が少なく、単価高となりました。長期安定生産をするため、ホモブシス根腐病やネコブセンチュウなどの病害虫に注意するほか、低温期でも作りやすい品種選びを呼びかけました。



▲新役員のみなさん

第21回JA佐波伊勢崎 トマトセンター利用組合通常総会

10月15日、JA佐波伊勢崎トマトセンター利用組合は本店で第21回通常総会を開き、36人が参加しました。

総会では、令和6年度事業報告並びに収支決算承認の件や新役員承認の件など、すべての議案が承認されました。

来年度は、販売価格の安定化や多品目セット販売による販売強化などに取り組んでいきます。

共計雨除けほうれん草規格目揃え会

10月11日、JA佐波伊勢崎園芸協議会あかぼり支部ほうれん草部会は、あかぼり営農センターで共計雨除けほうれん草規格目揃え会を開き、27人が参加しました。

市場情勢では、各産地とも猛暑の影響で、平年に比べ出回りが少なかった昨年よりもさらに少なく推移したと報告されました。また、現物を見ながら改めて出荷規格を確認しました。

今後の栽培管理については、褐斑病やべと病、チョウ目害虫など例年発生が見られる病害虫の防除を呼びかけました。



第29回 JA佐波伊勢崎年金友の会連絡協議会 グラウンドゴルフ大会

10月2日、ラブリバー親水公園でグラウンドゴルフ大会を行いました。会員132人が参加し、上位36人は県大会に出場しました。

大会の結果は以下の通りです。

() は所属支店名、敬称略

【最高齢賞】 塩谷 義雄 94歳(さかい)

男性部門

【優勝】 原 茂雄(みやごう)

【準優勝】 原 眞紀雄(南)

【第三位】 常木 彦治(あかぼり)

女性部門

【優勝】 貫井 潤子(たまむら)

【準優勝】 越須賀千代子(あずま)

【第三位】 杵淵 静子(あずま)



▲開会式の様子

JA群馬青年部協議会親善球技大会

9月20日、JA群馬青年部協議会親善球技大会が前橋市の登利平桃ノ木川グラウンドで開かれ、当JAの青年部からあずま支部・境支部・あかぼり支部の3チームが出場しました。

全6チームでソフトボールのトーナメント戦を行い、交流を深めました。

令和6年度直売協議会視察研修

10月1日、JA佐波伊勢崎農畜産物直売協議会は茨城県で視察研修を行い、役員や直売所店長など11人が参加しました。

道の駅常陸大宮「かわプラザ」やJA常陸東海ファーマーズマーケット「にじのなか」などを視察し、地域の特徴や課題などを共有しました。また、意見交換なども行い、今後の直売所運営に活かしていきます。



令和6年度中堅職員人材育成研修会

9月20日、当JAは本店で令和6年度第4回中堅職員人材育成研修会を開き、各事業部から選出された職員12人が参加しました。

今回は元埼玉県小学校校長で実業団野球部メンタルコーチを務める五十嵐勝美さんが講師となり、良い職場・組織を作るにはどうしたらよいかなどを話し合いました。また、周りへの感謝や他者の喜びを大切にするなど、グループワークを交えながら仕事に生かせる考え方を説明しました。

地区別JA運営委員会

10月22日から30日にかけて、地区別JA運営委員会を開き、多くの皆様にご参加いただきました。「令和6年度上半期実績並びに下半期重点方策について」などを協議しました。

皆様からいただいた貴重なご意見は、来月号に掲載させていただきます。



イベントレポート

9/29(日)

JAグループ群馬 収穫感謝祭2024

(会場:前橋市のJAビル南側大駐車場)



▲受賞した原さん(中央)

群馬県農業賞 (敬称略)

原 泰治 (たまむら)

当JAのブースでは、消費宣伝として管内産の新鮮野菜を販売するほか、(農)服部漬物さんの漬物販売も行いました。会場では、ステージイベントや群馬の農畜産物を使った加工品の販売、来場者参加コーナーなど様々な催しで賑わいました。また、令和6年度群馬県農業賞の表彰が行われ、当JAの組合員が受賞しました。おめでとうございます。



きゅうりの一本漬けが大人気でした

9/29(日)

「いせさきまつり」

みこしコンクールに参加

当JAは地域貢献活動の一環として、いせさきまつりに協賛しています。

当日は役職員約100人が参加。全員で一丸となって大きなかけ声を上げながら「農協丸」を力強く担ぎ、地域を盛り上げました。



みんなで担ぎました!!



10/4(金)・5(土)

「華城祭」に協力

(会場:伊勢崎商業高等学校)



3年6組



伊勢崎商業高等学校の文化祭「華城祭」では、各クラスが地元企業と連携して様々な商品を販売しています。当JAからは地元産の新鮮野菜やJA佐波伊勢崎オリジナル商品などを提供しました。生徒は販売実習を通して、日ごろの商業についての学習を実践しました。



チーズたっぷりピーマンの肉巻き & トマトともずくの甘酢あえ

①チーズたっぷりピーマンの肉巻き

材料【2人分】

- ピーマン……………3個
- ピザ用チーズ…100g
- 豚バラうす切り肉…6枚
- サラダ油……………小さじ1
- 酒……………大さじ1
- しょうゆ…大さじ1
- みりん……………大さじ1
- 砂糖……………大さじ1

A

作り方

- ①ピーマンを縦半分に切り種を取る。
- ②①にピザ用チーズを均等に詰める。
- ③②に豚肉を巻きつける。
- ④フライパンにサラダ油を入れて熱し、豚肉の巻き終わりを下向きにして焼く。焼き色が付いたら裏返して焼く。
- ⑤Aを混ぜ合わせ④にからめる。
- ⑥お皿に盛り付けたら、できあがり。

②トマトともずくの甘酢あえ

材料【2人分】

- ミニトマト……………10個
- もずく……………100g
- 枝豆(さや付き)…50g
- 酢……………大さじ2
- 砂糖……………大さじ1/2
- 塩……………小さじ1/4
- みりん……………小さじ1

A

作り方

- ①ミニトマトのヘタを取って半分に切る。
- ②もずくの水気を切る。
- ③枝豆を4～5分茹でて、さやかに出す。
- ④Aを混ぜ合わせ、①とあえる。
- ⑤やや深めのお皿に②③④を盛り付けたら、できあがり。



わたしの おすすめ料理

玉村町上福島

熊谷 すみ代さん



①チーズたっぷり
ピーマンの肉巻き

②トマトともずくの甘酢あえ

★ワンポイント
アドバイス★

- ・ピーマンの大きさによってチーズの増減を加減してください。
- ・甘めな味付けが好きの方は甘酢を作るときに、砂糖を多めに入れても美味しいです。

11月

うたの ひろば

玉村地区女性部短歌会

大会の 真白き球児の ユニホーム
土の汚れは 誇れとなれり
重田さみ江

大うちわと 玉村囃子に誘われ
児童館祭り一色となる
原 静子

東地区女性部 老人ホーム訪問

9月17日、東地区女性部はボランティア活動の一環として、老人ホーム「星のライフ国定」を訪問しました。

手話ダンス「アイリスの会」による発表や手芸部の手作りお手玉のプレゼントなど、利用者との交流を深めました。また、部員らが「夕焼けこやけ」をレクチャーし、全員で一緒に手話ダンスを踊りました。

住みよい地域社会づくりを目指し、今後も定期的に行っていきます。



▲「アイリスの会」による手話ダンス

JA佐波伊勢崎女性組織協議会 ハイキング

10月2日、JA佐波伊勢崎女性組織協議会は、会員同士の交流や体力づくりを目的としてハイキングを行い、会員54人が参加しました。

山梨県の花の都公園で花畑と農園エリアを散策。自然に触れて、色とりどりの花を楽しみながら歩きました。ハーブ庭園旅日記や富士河口湖庭園では、展望台から富士山の絶景を見ながら散策をしました。

また、里の駅いちのみやに立ち寄り、名産品などの買い物も楽しみました。



俳句

秋の暮となりの娘ご嫁に行き
何よりも日当りが好き目高の子

伊勢崎市戸谷塚町 樋口 幸子
涼し時期あつと云う間に秋が来る
我が友は気持優しや秋に似て

伊勢崎市境下武士 星野幸次郎
辛い事忘れるような名月や
眠れぬ夜一人窓辺で夜這星

伊勢崎市境下武士 遠藤 勝治
木犀の散る階に香を給ふ
愛犬の声絶えし家神の留守

伊勢崎市境下武士 中島 薫
早寝すりやスーパームーン夢ん中

川柳

一面に稲穂色ずき食す唾

伊勢崎市今泉町 松島 敦美
ゴロゴロの数が少ない夏は行き
部屋の中カヤする日まで指数え

伊勢崎市境下武士 星野幸次郎
つつ抜に調子外れの一吟す
老いの身に猛暑々や加減せず

伊勢崎市境下武士 遠藤 勝治
顔触れが揃った選挙案しみだ

短歌

終わりかと思えば揚がる遠花火

線香花火の思い出もあり
白粥に落とす卵の黄身汁えて

梅干添える今日も良き日と
伊勢崎市波志江町 小倉キヌ子

先に行く友を見送る淋しけり

今日この空に飛び立つ君へ
伊勢崎市今泉町 松島 敦美

あの人に半年ぶりに顔合せ
言葉少なや通り過ぎ去り
いつの間に暑い夏去り秋迎え

秋は多忙になりそうな時期
伊勢崎市境下武士 星野幸次郎
露草に羽黒トノボ群なして

残暑のこして又夏すわる
闇の空打ち上げ花火3県で

五臓六腑に沁み渡る空
伊勢崎市境下武士 遠藤 勝治
生真面目に働く姿美しい
笑顔ユーモア出せばもつと

「憧れのスロープ」

伊勢崎市戸谷塚町 飯島美枝子
憧れのスロープ友の家にあり
我家も造られ夢の如しも

青ダモの灰青色の木々の間を
スロープ曲りつ間口へ至る
夕べよりの雨に潤ほふ木の肌は

白灰色にいよよ艶めく

「折り込み都々逸」

伊勢崎市境下武士 星野幸次郎
「彼女」
①可愛い二人は ②のんびりがすき

③自慢の大声 ④良く聞こえ
「優しい」

⑤やさしい二人は ⑥三人ならば
⑦静か忘れて ⑧いつもにぎやか

読者の声

クイズは難しかったが、ボケ防止と思って頑張ってみました。毎月この本が来るのを楽しみに待ってます。(Yさん)

をゆでたりしてふるまってくれました。私の思い出は手打ちでなく乾麺でした。なつかしいですね。(Oさん)

頭の体操は大切です。飛翔を楽しみにしてください。楽しいです！引き続き皆さんが楽しめる紙面づくりに取り組んでいきますので、よろしくお願います。

編集担当も子どもの頃に七五三や夏休み、冬休みにになると親戚同士で集まり食卓を囲んだ思い出があります。私の思い出の食べ物に祖母が手作りの食たけん汁です。今は体を悪くしてしまいいないのですが、とても懐かしい気持ちになりました。JA佐波伊勢崎オリジナル商品の餅の郷うどんもぜひ食べてみてくださいね。

飛翔9月号に寄せられたおたよりを紹介します。

編集後記

7ページで紹介したいサイズまつりのみこしコンクールに当JAも参加しました。昨年は焼けるような暑さで、コンクリートを足袋で歩くのも大変でしたが、今年は過ごしやすい気温で

当日を迎え無事に終えることができました。まつりを終えると気持ちも秋冬へ切り替わってきますね。編集担当はキャンプが好きで、行きたい気持ちが高ぶって道具を買い足しています。なかなか行けていないので、今年に行きたいなと思います。

～JA佐波伊勢崎のラジオ番組～

「JAくらしナビ」

毎週土曜日に放送中!

JAくらしナビ～あなたの暮らしの応援団～
毎週土曜 午前10:30～11:00

いせさきFM(76.9Hz)で、
JA佐波伊勢崎のレギュラー番組を放送中!
旬の農畜産物情報やJA佐波伊勢崎の最新情報、暮らしに役立つ情報をお届けしています。
また、SpotifyやPodcastでも配信!
詳しくは、いせさきFMのX(旧Twitter) (@Isesakifm_FM769) をご覧ください。



いたがき み き
あずま支店 **板垣 未来** (28歳)



【仕事内容】窓口で貯金・為替・口座振替・税金などの受付や収納業務、相続対応などを行っています。

【仕事でうれしかったエピソード】対応したお客様から感謝のお言葉をいただいた時や名前と顔を覚えてくださり、頼られた時に大変やりがいを感じます。

【仕事で心がけていること】常に組合員の方やお客様の立場になって物事を考え、丁寧な対応をすること。また、仕事を受けた際には、迅速にかつ漏れがないよう心がけています。

【今後の目標】自分自身の苦手な分野について、1つでも多く知識を増やしていきたいです。また、組合員の方やお客様に寄り添う職員でいたいです。



あずま支店の板垣未来です。入社して11年目になります。好きな野菜はトマト・ブロッコリー。趣味は映画鑑賞です。

あずま支店からのお知らせ

新NISA制度が始まって以来、たくさんのお客様からお問い合わせをいただいております。ご不明な点などを分かりやすく説明いたしますので、ぜひあずま支店までお問い合わせください。

所属長より

板垣担当は明るく真面目な性格で、貯金窓口リーダーとして正確で迅速な事務処理を行っており、いつもお客様に丁寧で寄り添った対応を心がけて、日々頑張っています。今後もあずま支店の窓口リーダーとして、より一層の成長を期待しています。

さわうら だいき
あずま営農センター **澤浦 大樹** (26歳)



あずま営農センターの澤浦大樹です。入社して5年目になります。好きな野菜はきゅうり・なす。趣味はバスケットボール・スポーツ観戦です。

【仕事内容】肥料・農薬・資材等の販売や配送を行い、指導センターやメーカーに同行していただき、きゅうり・なす・トマトなどのほ場巡回をしています。

【仕事でうれしかったエピソード】農薬等の相談を受け、提案と説明をした後「ありがとう。また、よろしくね」など言っていただけ時はすごくやりがいを感じます。

【仕事で心がけていること】生産者とのコミュニケーションを大切にし、時期にあった情報を正確に伝えられるようにしています。

【今後の目標】農薬や肥料、栽培の知識をもっと身につけて生産者に頼ってもらえる職員になれるよう、頑張っていきたいと思えます。



所属長より

澤浦担当は性格も明るく、組合員とコミュニケーションをとりながら、日々農薬や肥料等の相談に対応しています。また、あずま地区はきゅうりの生産者も多く、時期になると苗の注文で駆け回っています。あずま営農センターに必要な人材なので、今後も持ち前の明るさとフットワークで、営農指導・営農相談と組合員対応をお願いします。

あずま営農センターからのお知らせ

あずま資材館では、11月20日まで秋の農業資材売り出しを行っていますので、ぜひお越しください。

農薬適正使用のポイント ～ 使う前にラベル確認 ～



① 農薬の適正使用の基本

農薬にはすべて使用基準が定められており、使用する際には基準を遵守することが求められています。農薬を使用する前に**必ずラベルを確認**し、使用基準を遵守しましょう。主な使用基準は次の通りです。

① 適用農作物

製剤ごとに異なるため必ず確認します。同じ科に属する農作物、名前や形状の類似した農作物に使用基準があっても、同様の基準があるとは限りません。

② 使用時期

農薬使用時期と農作物の収穫日の関係を確認しましょう。特に収穫までの期限の設定が長い農薬については注意が必要です。また、農作物の収穫前に、トレサビシート等により農薬の使用後日数が経過していることも確認しましょう。

③ 使用回数

購入した種苗にすでに農薬が使用されているかどうかを確認し、あらかじめ自身が使える農薬の総使用回数を把握しましょう。また、異なる製品であっても同一の成分が使用されているものがあることに注意が必要です。

④ 使用量又は希釈倍数

計量器具を用いて必要量を正確に計量し、希釈が必要な場合は所定量の水で希釈します。その他、農薬ラベルに記載されている使用上の注意事項並びに最終有効年月の確認も大切です。

国内での農薬不適正使用事例 (R5.4以降)

作物	原因	検出値 (単位:ppm)
ピーマン	目分量で計量したため適正量よりも多く使用した	0.65 (基準値 0.5)
リーフレタス	ラベルを確認せず使用した	23.6 (基準値 1)
コマツナ	他作物に散布した薬液が飛散した恐れ	0.03 (基準値 0.01)
バジル	防除器具の洗浄不足	0.05 (基準値 0.01)

【農薬飛散(ドリフト)防止】

近隣の他作物への飛散防止のため、風や散布方向に注意し、散布圧力を上げすぎない。また、緩衝地帯や遮蔽物(遮蔽シート・緑肥等)の設置も有効です。加えて、近接の生産者とコミュニケーションをとり、日頃から連携を密にしましょう。

【防除器具の洗浄】

農薬散布後も防除器具内には薬液が残っています。散布後速やかにホース内、ストレーナー、薬液タンクを洗浄し農薬の残留を防ぎます。

2 使用者の安全対策

毎年農薬の使用に伴う事故や被害が発生しています。農薬使用時の安全対策をしっかり行いましょう。

【被爆の防止】

散布液の調整や散布時はマスク・メガネ・防除衣などの保護具を身につけます。

【防除器具の点検】

散布前は、使用器具の点検を行います。特に、ノズルの目詰まりやホースの亀裂は事故の原因になることもあるため、十分に確認しましょう。



【ほ場での被爆防止】

散布は、後退しながら行い、農薬を必要以上に浴びないように工夫しましょう。

【作業時間と作業後の休息】

体力を消耗する日中の暑い時間帯の散布は避けましょう。加えて、散布作業をした後は、飲酒は控えて早めに就寝し、体力回復に努めましょう。

3 保管方法

使用する農薬は毒劇物に限らず、鍵のかかる保管庫に入れ、安易に持ち出されないように保管しましょう。加えて、農薬の小分けやペットボトルなど別の容器への移し替えは誤使用・誤飲などの原因となるため、絶対に行わないようにしましょう。

国内での農薬事故・被害事例 (R4.4以降)

原因	状況	症状・程度
装備不十分	農作業中、農薬が口に入った。	口唇・喉の痛み等
使用時の不注意	散布中、長靴に農薬が入り、エアで除去したが、水洗による除去は5時間後に行った。	両足首から下のかゆみや痛み、水ぶくれ等
保管管理不良	飲酒后、農薬を間違えて飲用。	死亡

(伊勢崎地区農業指導センター)



実りの秋を楽しみながら健康な体づくり

食欲の秋といわれるように、四季の中でもおいしい食べ物が増える季節です。ついつい食べ過ぎて体重の増加が気になる方もいらっしゃるでしょう。今回は、おいしく食べながら健康な体づくりができるお薦めの栄養素を二つお伝えします。

■タンパク質

肉・魚・卵・乳製品・大豆製品などに含まれるタンパク質は、筋肉、皮膚、体の細胞などの材料になる重要な栄養素です。芋・栗・新米などがおいしい季節ですが、タンパク質が不足すると食欲が増進する恐れがあります。タンパク質をしっかり取ると、満腹ホルモン（コレスチトキニン）が、食欲抑制ホルモン（レプチン）の分泌を高めるためです。タンパク質の1日の推奨量は、「日本人の食事摂取基準」（厚生労働省・2020年版）によると、18歳以上で男性は65g、女性は50g。毎食手のひら分くらいの量を食べると良いでしょう。旬のサンマをかば焼きにすると新米と一緒においしく食べられます。忙しい

朝は、ヨーグルト・ゆで卵を食べると良いでしょう。

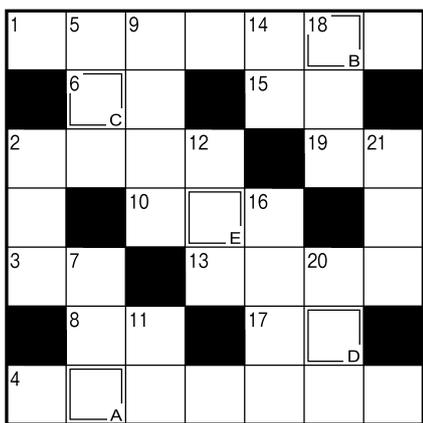
■ビタミンB6

カツオ・マグロ・サンマ・玄米・ニンニクなどに含まれるビタミンB6は、タンパク質の代謝に関わる栄養素です。食べたものを代謝できると、体重が増えにくいので秋の味覚をおいしく楽しく食べられます。神経や皮膚を正常に保つ働きもあるため、美しい肌になりたい人は意識して取ると良いでしょう。料理が苦手な方は、魚の缶詰を利用すると手軽に取れます。ニンニクを炒め物に活用したり、カツオにのせて食べるのもお薦めです。

食べないダイエットは、体調不良を招きます。食事を抜くと栄養不足になり、基礎代謝が低下して太りやすくなるため、3食しっかりと食べるようにしましょう。



クロスワード



■9月号の答え

ス ポ ー ツ ノ ヒ

ヨコのカギ

- ① 12月24日の夜のこと。聖夜ともいいます
- ② 甘いお菓子のことで
- ③ 一の授業で、冬の星座について学んだ
- ④ 昭和の頃の録音媒体。たるむと鉛筆で巻きました
- ⑤ ギャンブルです
- ⑥ どてらに詰められているもの
- ⑦ 安心したときにホッともらします
- ⑧ 忘年会で部長が一の音頭を取った
- ⑨ サンタクロースの乗り物
- ⑩ 彼は一とともに認める本の虫だ
- ⑪ 一、乙、丙、丁

タテのカギ

- ② 墨をするときに使います
- ⑤ 英国の文化について学び、一を深めた
- ⑦ 外為の「為」を略さずにいうと
- ⑨ 氷の張った湖で楽しむ人もいるスポーツ
- ⑩ 令和6年の干支(えと)は一、令和7年は巳(み)です
- ⑫ 残ったおでんに具を一して煮直した
- ⑭ ズボンを買ったあとで上げることも
- ⑯ 使ってはいけない技のこと
- ⑰ だしを取るのに使う小魚の干物
- ⑲ ゴルフクラブの一種です
- ⑳ 風邪の予防に、ガラガラガラ

ご応募方法

- クロスワードを解き、A～Eの順に文字を並べてください。
- ハガキに ①答え ②住所③氏名 ④年齢 ⑤職業 ⑥電話番号 ⑦本誌の感想やイラストなどをご記入のうえ、〒372-0812 伊勢崎市連取町3096-1 J A 佐波伊勢崎広報係宛にお送りください。
- ※投稿・応募いただいた方の個人情報はプレゼントの発送、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。前記の目的以外には使用いたしません。
- 締め切りは12月10日(火) (当日消印有効)
- クイズ当選者には、抽選で5名の方に直売所利用券をプレゼント。

当選者発表

- 9月号クイズ当選者は次の方々です。おめでとうございます。
- 【応募総数19通】()は町名、敬称略
- 保 坂 孝 枝 (伊勢崎市波志江町)
 - 松 本 真 里 (伊勢崎市馬見塚町)
 - 栗 原 敦 子 (伊勢崎市境島村)
 - 萩 原 千 里 (玉 村 町 樋 越)
 - 齋 藤 望 (伊勢崎市香林町)

事業の概要

令和6年9月末日現在

項目	金額	前年対比
貯金高(実残)	1,834億2,896万円	100%
貸付金高(実残)	500億2,035万円	97%
長期共済保有高	3,730億3,762万円	97%
購買品供給高	26億6,957万円	104%
販売品販売高	65億8,112万円	100%
項目	員数・金額	前月対比
正組合員	6,025人	-7人
准組合員	13,721人	2人
総組合員	19,746人	-5人
出資金	24億6,354万円	-236万円

理事会

9月30日、本店で理事会が開催され、次の事項が協議されました。

【協議事項】

- 県連等の役員就任について(案)
- 令和6年度第2・四半期仮決算実績検討書について
- 文書管理規程の変更について
- (株)JAマネジメントサービス8月末事業実績について
- マネロン対策にかかる「取引のリスク評価書」の改正について(案)
- コンプライアンス・マニュアルの一部改訂について(案)
- 個人情報保護法関連規程の一部改定について(案)
- 融資要項の一部改正について

【報告連絡事項】

- 令和6年度 仮決算監事監査日程について
- 8月末組合員数及び出資金額一覧表について
- 8月末金融事業部実績について
- 8月末共済推進実績について
- 8月末営農販売事業部実績について
- 8月末生活事業部実績について
- 8月末資産運用事業部実績について

【その他報告連絡事項 23件】

※理事会の議事録は支店で閲覧できます。
支店長にお問い合わせください。

直売所通信

Vol. 44

今回は
直売所
あかぼり店

秋の味覚

地元産のしいたけがおすすめですよ！
10月からあかぼり地区のしいたけの出荷が始まりました。



おすすめポイント

とつても肉厚

食べ応え十分

煮ても・焼いても・炒めてもおいしい

さまざまな調理法で楽しめます😊

直売所は旬の食材が勢揃い!!

きゅうりやトマトなどの果菜類・ブロッコリー・白菜・キャベツも盛んな地域です。ぜひあかぼり地区の旬の野菜をたっぷり味わってください！



インフォメーション

11月17日(日)まで「あかぼり小菊の里」で出張販売も行っております。ぜひお立ち寄りください。(火曜日・雨天時は出張販売お休みです)



国産愛用

大豆と米は
100% 国産

※エコーマーク商品はJA
グループの商品です。国内製造。

食べ頃仕込み味噌ご愛用キャンペーン

令和6年10月1日受注分～令和7年1月20日受注分



山印醸造商品 **「完成品」タイプ** すぐに召し上がれるお味噌です。

写真はイメージです。

JA
おすすめ
の
みそ

原材料の大豆・米は
100% 国産を使用
しています。



赤 10割糀

1 食べ頃仕込み味噌
1.8kg×4入
通常価格5,806円
(税込価格)

特別価格
5,000円



白 8割糀

2 食べ頃白仕込み味噌
1.8kg×4入
通常価格5,806円
(税込価格)

特別価格
5,000円



赤 10割糀

3 食べ頃仕込み味噌
1kg×4入
通常価格3,361円

特別価格
2,900円 (税込価格)



白 8割糀

4 食べ頃白仕込み味噌
1kg×4入
通常価格3,361円

特別価格
2,900円 (税込価格)

当社商品「食べ頃仕込み味噌」と比較して
食塩20%カット(塩分9%)10割糀の赤つぶの信州みそです

赤 10割糀

5 食べ頃仕込み味噌減塩
750g×6入

通常価格3,836円
(税込価格)

特別価格
3,450円



お申込先

お気軽に下記まで!

生活燃料課 ☎ 0270-20-1229
食材宅配センター ☎ 0270-25-9779

国産消費で、日本の「食」に安心を! 日本の「食」は、どうなる?

私たちの食べものは、自然の力を活かし、多くの時間をかけて作られています。足りなくなったからといって、すぐに作ることはできません。でも、日本の「食」は今、多くのリスクを抱えています。

食料の多くを輸入に
頼る日本。輸入がもし
止まったら、どうなる?

日本の「食」が直面している
「5つのリスク」

世界や日本で**自然災害**
が増加。農業が受ける
ダメージは、どうなる?

農家と農地が**減っている**。
私たちの食べものは、どうなる?

約120万人
2022年
基幹的農業
従事者数
約30万人
約20年後

※ 農水省による推計(「農業構造動態調査」より)

増え続ける世界の人口と食料需要。
輸入に頼る日本は、どうなる?

80億人
2022年
97億人
2050年

※ 国連広報センターによる推計

高止まりする肥料・家畜のエサ・燃料。
農家の経営は、どうなる?

高騰する
生産資材
2020年を
100とする

エサ 139.5
肥料 134.1
燃料 129.7

※ 農水省令和6年5月農業物価統計調査

どれも大きなリスクですが、私たちにも
できることがあります。

日々の食卓に「国産」を取り入れる。それが日本の農業を応援し、
「食」を未来につないでいくことになります。



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ

税務無料相談 《開催場所：JAラ♡ラ♡タウン》 予約制			
税理士法人いずみ	12月 5日(木)	令和7年 1月 9日(木)	午後2時～
千川会計事務所	12月18日(水)	令和7年 1月15日(水)	午後2時～
法律無料相談 《開催場所：本店》 予約制			
田中・二階堂法律事務所	12月11日(水)	令和7年 1月15日(水)	午後1時～
各支店窓口へお気軽にご相談ください。 (※当日3日前までにお申込みください。)			
年金無料相談 予約制			
JAラ♡ラ♡タウン	12月8日(日)	午前9時～午前11時まで	
お気軽にご相談ください。 ご予約は ☎0270-20-1234まで (※当日3日前までにお申込みください。)			
農業者年金 老後生活への備えは十分ですか？			
老後の備えは 国民年金 + 農業者年金！			
<ul style="list-style-type: none"> ◆支払った保険料は全額社会保険料控除の対象！ ◆運用益は非課税！◆農業経営の状況に応じて保険料を増額し節税額をアップ！ 			
※詳しくは、お近くの農業委員会、またはJAへ			

施設園芸農家に対する 営農用A重油支援対策 のお知らせ

長引く原油の価格高騰により、農業経営に影響を受けた利用者に対し、A重油の助成金の交付を実施いたします。

- ◆**助成対象**：令和6年4月～令和7年3月末日までの間にJA佐波伊勢崎から農業用燃料として購入したA重油が対象となります。
- ◆**支払基準**：A重油の購入量1ℓあたり2.0円/ℓ(消費税別)を助成
- ◆**助成金交付日**：令和7年5月下旬
- ◆**交付金振込先**：A重油購買代金引落口座へ振り込み

※この対策に係る助成金は令和6年4月から令和7年3月までの間にA重油の購入・納品が完了しており、尚且つ単価が農水省物価統計で国の施設園芸セーフティネット構築事業で設定している基準価格以上に上昇した場合に限ります。

受講生募集!!

令和6年度 農と食のふれあい講座：後期

1 目的

農林大学校では県民の皆様を対象に、農林業の魅力を感じていただくとともに、農林大学校への理解を深めていただくことを目的として、「農と食のふれあい講座」(公開講座)を実施しています。

2 講座の種類及び内容

No	講座名	定員	開催日時	講座内容	募集期間
2	家庭で楽しむ果樹の整枝・せん定	10人	令和7年2月5日(水) 10時00分～12時00分	ブルーベリーの整枝・せん定について(講義、実演)	令和6年11月1日(金)～12月16日(月) 必着
3	春夏野菜づくり	20人	令和7年2月19日(水) 13時30分～16時00分	キュウリ、ナス等の春夏野菜のつくり方(講義)	
4	家庭で楽しむ花き栽培	15人	令和7年3月7日(金) 10時00分～12時00分	夏の花壇苗づくりと花壇の管理(講義)	

3 会場 群馬県立農林大学校 高崎市箕郷町西明屋1005

4 対象 群馬県内に在住の人

5 費用 無料

6 申込期間 令和6年11月1日(金)～12月16日(月) 必着

7 申込方法 往復はがき(希望講座ごとに一人一枚)

8 受講の決定 各講座とも申し込み多数の場合は、抽選となります。また、抽選にあたっては過去の受講歴を考慮します。受講可否については、返信用はがきにてお知らせいたします。

9 その他 傷害保険には加入していませんので、あらかじめご了承ください。



小型管理機の基本操作

果樹の整枝・せん定

申込・お問い合わせ先

群馬県立農林大学校 研修部 〒370-3105 群馬県高崎市箕郷町西明屋1005
電話(直通)：027-371-3841 (代表)：027-371-3244

わたしの生きがい

伊勢崎市小泉町

いわさき りょうへい
岩崎 椋平さん

愛用のクラブセットと

ゴルフ

岩崎椋平さん(32歳)がゴルフを始めたのは4年前。父の素弘さんが経験者だったこともあり、弟の純さんと一緒に始めました。

仕事の合間を縫って自宅の庭にベント芝の種をまき、グリーンを自作するほど情熱を注いでいます。暑さに弱い品種のため、1日3回の水やりをし、苦勞して作りあげました。仕事の息抜きに、パターやアプローチの練習をして、スコア短縮を目指しています。

今年で就農して4年目の椋平さん。素弘さん・純さんと協力してキュウリを栽培し、忙しい日々を送っています。「ゴルフは思い通りに飛ばず難しいからこ

そ、飽きずに家族や友人と楽しめるのが良い」と話します。

始めたころはスコアが伸びず、一人で練習に行き努力を重ねていました。その結果、当時よりスコアを30縮めることができたそうです。キュウリ栽培が閑散期となる6月と10月下旬を中心に、年間10回以上ゴルフ場へ行き、家族や友人と腕を競い合います。

「毎回行くゴルフ場が同じなので県外のゴルフ場を巡ってみたい」と話す椋平さん。これからも仲間と楽しみながら、自己ベスト更新を目指して腕を磨いていきます。

11月の花



メタセコイヤ (metasequoia)

スギ科の落葉針葉樹。

日本をはじめ、北半球各地で化石として知られていたが、1946年に中国四川省で現在種が発見された。生育が早く、各地で栽培されている。別名アケボノスギという。大樹ゆえ、公園・学校・神社などによく植えられている。

【写真・文寄稿】伊勢崎市連取町 故 大竹 光司さん

「今月の花」はこれで終了いたします。写真・文を寄稿してくださった大竹光司さんには心から感謝申し上げます。長きにわたりありがとうございました。

12月号からは新コーナー「役員のとびら」をお届けします。

表紙紹介



▲コンバインを操作する直希さん

表紙の写真は伊勢崎地区で米麦やネギなどを栽培する石田喜代治さん親子と従業員のみなさんです。

19歳の頃、父の代から続いた畜産を継ぎ、養豚に従事していた喜代治さん。豚の流行病や周囲の農家の縮小から、現在は「農事組合法人波志江北部」として米麦やネギなどの栽培をしています。

喜代治さんの仕事を継ぐ直希さんは就農して5年目。高校時代からの友だち2人と共に働き、喜代治さんについて「知識が豊富で、質問したらやさしく教えてくれる」と話してくれました。

若い層に経験を積んでほしいと期待を込めて話す喜代治さん。今後の法人のためにも、経営の基盤作りをしていきたいと目標を語ります。